



子どもたちが工作に挑戦!!

自分たちで割った竹で灯籠作り

7月24日(日)、鶴田町子ども会育成連絡協議会は子ども会の活動内容を地域の人に知ってもらおうと、「鶴田町キッズフェスタ」を町公民館で開催しました。

このイベントでは竹を用いた竹灯籠作り体験が行われました。子どもたちは初めに色とりどりの和紙や花柄などの模様のある和紙に思い思いの絵を描きました。その後、かなづちとナイフで竹を割り、それを組み合わせて灯籠のフレームを作り、和紙を貼り付けてオリジナルの竹灯籠を完成させていました。

竹灯籠完成後には、子ども会指導員による体を動かす様々な遊びで盛り上がっていました。



町の名物弥生画・草木染めに挑戦

鶴田町の魅力を知ってもらおうと、地域活性化を目指す「鶴田まちおこし応援団」と元地域おこし協力隊の山田園実さんが7月23日(土)、町公民館で弥生画制作とスチューベンの草木染め体験をする「親子ワークショップ」を開催しました。

イベントは親子が対象で、約20人が参加。弥生画制作では、まちおこし応援団の下山千香さんの指導のもと、鶴の舞橋の廃材を再利用したフレームの中に大豆や黒豆などを一粒ずつ慎重に貼り付け、作品を作り上げていました。

草木染めでは、参加者たちがビー玉やペットボトルのふたを白いハンカチで包んで輪ゴムで縛り、スチューベンの煮汁(選果で廃棄されるブドウを再利用)に10分間漬けこみました。煮汁から取り出し水洗いをして輪ゴムを外すと、紫に染まったハンカチに一人ひとり違う個性的な模様が現れていました。



下山鶴田町消防団長が日本消防協会副会長に就任しました

6月21日(火)、下山正彦鶴田町消防団長が(公財)日本消防協会副会長に就任し、23日(木)には(公財)青森県消防協会会長に再任されました。

下山団長は「これからは町消防団や青森県内の消防団のみならず、全国の消防団のため団員が活動しやすい環境作りと、両協会発展のため尽力するとともに、重責をしっかりと果たしていく所存です。町民の皆さまには今後とも町消防団に対し、ご理解ご協力を引き続きお願いいたします」とこれからの抱負を語りました。

鶴田町消防団員募集中!

消防団員は、それぞれが自分の仕事や学業を持ちながら、災害活動や広報活動などに従事し、町の安全安心のために活躍しています。また、特別職の地方公務員として、報酬や手当の支給、被服の貸与、公務災害補償などの制度が設けられています。

鶴田町消防団入団資格

- 鶴田町に居住している方、または勤務している方
- 年齢18歳以上60歳未満の方
- 心身ともに健康である方



△新たに日本消防協会副会長就任した下山消防団長

■問い合わせ先：鶴田消防署 TEL：0173-22-2131